

平成 26 年 3 月 2 日 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時

誕生祝福式

司 会 : 片岡洋一兄
奏 楽 : 米田 香 姉
おいのり : 加藤由美子姉
さんび : 新聖歌 282 「見ゆるところによらず」1. 2. 3 節
使徒信条
聖 書 : 創世記 8 章 6 ~ 12 節 (P.8)
(朗読: 平松友子姉)
音 楽 : 倉知契牧師
メッセージ : 「ノア~約束の舟」 倉知 契牧師
さんび と 献金 : ♪ 聖歌 656 「感謝します」
頌 栄 : ♪ 新聖歌 63 「父御子御霊の」
祝 禱
報 告

【瀬戸ニュース】

- ◇ 皆様を歓迎します。礼拝後昼食あり、楽しい時間です！
- ◇ 本日午後には牧師はFREE。お話・お祈りしたい方どうぞ。
- ◇ 3/30(日)持ち寄り音楽会、出演募集中。
- ◇ 3月はレント(受難節)と言います。来月のイースターに向けてイエス様の十字架の愛を噛みしめる月になりますように。
- ◇ 今週も祈禱会を大切に！
木曜10時半 / 土曜掃除10時半・祈禱会11時15分
- ◇ 祝大 Aコース:マルコ5章~8章
Bコース:民数記8章~27章

◇次聖日礼拝奉仕者 [平成26年3月9日]

[司会: 小木秀夫兄、いのり: 持田樹理姉、聖書朗読: 加藤由美子姉]

[ピアノ: 片岡立子姉、賛美リード: 大神 雄兄]

アシスト: 大神久美姉、鄭 恵真姉

[献金: 太田昌子姉、受付: 平松友子姉]

◇PA: 平松章治兄

◇週報編集: 片岡洋一兄

◇ホームページ編集: 大神真伸兄

◇日曜学校: 片岡立子姉



・ The Lord shut him in. (NKJV)

「そこで主は彼のうしろの戸を閉ざされた。」 (創世記七の十六)

フリーの演技を終えると、天を仰いだ顔が、感情がはじけるのを抑えるかのようにゆがんだ。およそ十五秒後、気持ちを切り替えるようにならずくと、真央ちゃんスマイルになった。ショートプログラムは取り返しのつかぬ結果に終わり「どう明日を乗り切れればいいのか、分からない」と言っていたのが、フリーは自己最高点。みんなが見たかった笑顔を見せてくれた。光が差した気がした。あの十五秒間、どんな思いが去来したのだろう。四分間の演技と同じように美しく、胸を打つ十五秒だった…。

この中日新聞の記事だけでなく、各テレビ局が、あのフリーの演技、トリプルアクセルと、最後のフィニッシュを放送し続けた一週間。私も、浅田真央さんと一緒に涙をした多くの国民のひとりでした。24時間で立ち直ったきっかけはコーチの一言。ショートプログラム失敗のあとなかなか寝付けず、翌日めずらしく練習に遅刻した真央さんに、佐藤信夫コーチは叱咤しました。「まだ3分の1しか試合は終わっていない。気合いを入れないとだめだ！」親身になって怒ってくれる幸い。大きな試練で忍耐を余儀なくされている方は、ぜひへブル人への手紙12章を読んでほしい。そこには『主は愛する者を訓練し、受け入れるすべての子を、むち打たれるのである。』という世界があります。

佐藤信夫コーチは、1980年のレークプラシッド五輪、扁桃腺を腫らし40度近い熱の中で演技をし、8位入賞を果たした松村充選手のコーチでした。当時を振り返って松村さんは、佐藤コーチの口癖は「リンクのフェンスが閉まったあとは一人、誰も助けることはできない」なのですが、あの時は「演技の途中で倒れたら俺がすぐに助けに行く。だから思いつ切り滑ってこい」と、それから30年。佐藤コーチは同じ言葉を真央さんに語ります。「練習してきたことを信じれば大丈夫。何かあったら助けに行く…」。その言葉に彼女の不安が消え去りました。

叱咤だけでなく、「何かあったら助けに行く」それが子を奮起させる本当のコーチの姿。一人子さえ送ってくださる父の愛に見守られ、私たちが恐れることなくリンクに向かいたい。あなたのレースは終わっていません、これからです！

瀬戸カルバリーチャペル

倉知 契